びわ湖一周からはじまる自転車普及社会へ

輪の国びわ湖推進協議会 会長 近藤隆二郎、〇福江岬

1. 活動方針・目的

滋賀が誇る「びわ湖ー周サイクリング(ビワイチ)」を契機とし、自転車普及社会(低炭素化社会)へ結びつける。自転車の価値・楽しさ・素晴らしさを多種多様な層に再認識してもらう機会を設け、来訪者を増やすという観光効果だけでなく、環境・健康としての県創りを促進する。スローツーリズムとして滋賀が自転車観光のメッカになり、自転車走行環境や協賛ショップにより自転車に配慮した街づくりにつながることで、県民も自転車を利用しやすいまち「輪の国」を目指す。

2. 活動内容

①びわ湖一周サイクリング認定証の交付

びわ湖周辺の道の駅など14ヵ所をチェックポイントとしてQRバーコードを設置(以下QRポイント)。QRポイントを4ヵ所以上立ち寄り、有料にて申請することで通過時間の記載された認定証と記念ステッカーを発行。

②サイクリング情報の提供

Web上(http://www.biwako1.jp/)にてサイクリング情報を掲載。びわ湖一周の基礎知識や、登録会員の情報を元に、「おすすめコース」、「道路情報」、「トイレ・コンビニ・宿泊などの施設情報」を地図上に掲載することで、リアルタイムなユーザー参加型のサイトを提供。現在びわ湖一周サイクリングガイドマップを作成中であり、誰もが容易にびわ湖を巡る事ができるよう体制を整えている。

③協賛店ネットワークの創出

びわ湖沿岸にある宿泊施設、カフェ等が協賛として活動に参画。協賛店には自転車来訪者に対し「サイクリストに優しい」おもてなしを用意してもらい、当HPやイベント時にてPR等を実施。

④サイクリングツアーとレンタサイクル

誰もが長距離を楽に走れるスポーツバイク(ロード、クロス、MTB等)を常時貸出している。 また、滋賀の歴史、自然に触れるサイクルツアーを開催し、自転車の楽しみ方の提案を実施。

3. 他の活動団体の参考となる事例

びわ湖一周という広域性でかつ対象者が幅広い為、事業PRを県内市区町村や学校など多様な機関へと協力を求めた。その際に必要となったのが、県や県教育委員会の後援である。後援を取得して以来、各機関・施設の理解協力が円滑に得られ、全県的なPR活動が可能となった。

継続的な展開に向けては、びわ湖ー周につきものとなる宿泊施設の協賛による連携を進めた。

4. 今後の課題等

事業の継続・拡大に向けて、ツアーガイドの育成や、ツアーの付加価値を高めること、そして客単価のアップが課題となる。ガイドに関しては個人スキルへの依存が高い。また、サイクリングツアーに高級スポーツバイクのレンタルを取り入れるなど多様な方法で付加価値をつけ、最終的には客単価を高めていかなければならない。ボランティアではなく、継続的な事業として成り立つ仕組みを模索している。

びわ湖一周からはじまる自転車普及社会へ

輪の国びわ湖推進協議会 事務局 福江岬



輪の国びわ湖とは、その目的

輪の国びわ湖=自転車+公共交通ー自家用車

自転車の持つ楽しさや可能性を再認識する場を設け爆発的に広める びわ湖一周サイクリングを契機に、自転車利用者を増加させる

来訪者を増やす(観光)+健康・環境に優しい県創り(エコ、健康)

自転車走行環境や協賛ショップ網により自転車に配慮した街づくりへ 受け入れ体制を強化し滋賀県をスローツーリズムのメッカに



県民も来訪者も自転車を利用しやすい「輪の国」を目指す

認定証の発行(2009年秋~)

- ①ビワイチQRポイント(右図)でQRコードを 読み取りスタート
 - ※QRポイントは道の駅、港、JR等沿岸沿 いの公共の施設を中心とした14ヶ所
- ②最低4ヵ所にてQRコードの読み取りとクイ ズに回答。走行時間、日程などは問わな 61
- ③4ヶ所以上でチェック完了後、ユーザー登 録を行い終了。
- 4認定証、ステッカー、 及び事務手数料とし て1.000円振り込み、 手続き完了。











2010年実績 378人申請 (2011/1/1現在399人)

1周達成毎に記念ステッカーを提供





5周達成 ***** シルバーステッカー 現在2名



THE LAKE BIWA 10周達成 ゴールドステッカー



2011年



Web**での情報提供 www.biwako1.jp**

ビワイチの基礎情報を載せた、事前準備の為のサイトを提供



[Mobile]

- ・QRコードの読み取り
- ・GPS地図を搭載し、 現在地の把握、近くの 協賛ショップが容易に 分かる



[Web]

- ・走行時間や距離は?どんな自転車がいい?壊れたときは?ルートなど細かい 多様な情報を網羅
- ・誰でも書き込めるサイクリングマップに より走行者によるタイムリーな情報を蓄 積可能に
- ・メルマガでの定期的な情報発信



協賛ショップやレンタサイクル網の構築

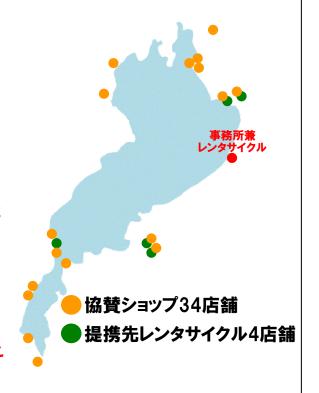
「協賛ショップ〕

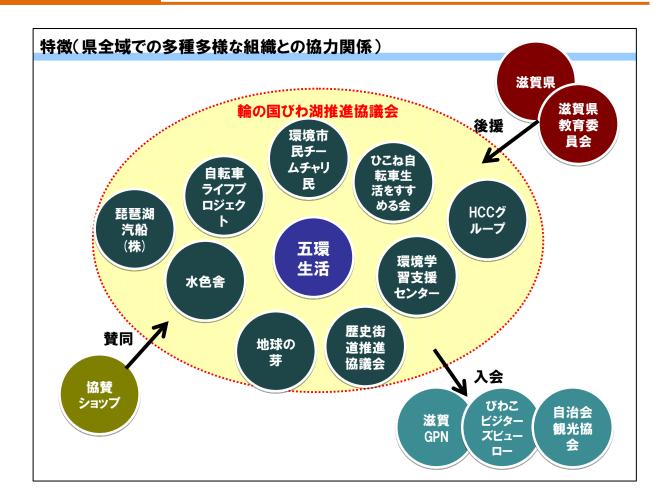
- ・活動に賛同頂ける宿泊施設などが加盟 宿泊の主な拠点となる湖北、湖西(北部)、 湖南を中心として点在。
- ・HPで協賛ショップページ設置 自転車来訪者だけの特典を用意。 (例:出発前にドリンク1本手渡し)

[レンタサイクル]

- ・事務所でレンタサイクル実施 クロス、ロード、MTBなどスポーツバイク中心に 揃える。
 - ※昨年実績 497台
- ・各地にレンタサイクルの提携場所を設置
- ・乗り捨てなどが出来るように連携

来訪者が迷うことなく準備ができ、かつ安心してビワイチが出来る、また来たいと思える受け入れ体制の構築へ。





自主開催イベントの実施と今後の展望

-2010年-

- 04. 桜と戦国をめぐるサイクルツアー 06. 近江の戦国をめぐるサイクルツアー
- 11. びわ湖一周自転車遊ラン2010

自主サイクリングイベントにより、自転車と 滋賀の歴史・文化・環境に触れる機会を提 供することで、滋賀・びわ湖に対する愛着 も醸成。

-2011年予定-

- 04. 春の遊ラン「江GOサイクリング」 公式ガイドブック発行
- 08. びわ湖一周自転車遊ラン2011
- 11、秋の遊ラン「南湖一周サイクリング」
- ・ツアーガイドの育成により多様なニーズに 答える体制作り
- ・ツアーの付加価値を向上させ、来たいと 思えるイベントへ
- ・協賛ショップネットワークを強化し、受け入 れ体制の基盤を固め



継続的な事業として運営可能な仕組みを構築することが課題。